

雑穀は移植栽培で雑草発生を抑えることができる！

【1 成果の概要】

除草労力の軽減

移植栽培は、「出芽前中耕」および「移植直後の早期培土」が不要です。

表 1. 移植栽培と直播栽培の除草作業

	耕起	出芽前 中耕	間引き	早期培土		仕上培土
	播種・移植前	播種後 2~3 日	早期培土の 前	1 回目 播種後 20~ 25 日	2 回目 1 回目の 7~ 10 日後	早期培土の 7 ~ 10 日後
移植栽培	必須	不要	不要	不要	必須	必要に応じ
直播栽培	必須	必須	必要に応じ	必須	必須	必要に応じ

注) 作業名の下段は各作業を行う時期の目安です。

出芽前中耕：雑穀の出芽前に中耕し、播種した条跡に土をかける作業です。

早期培土：畦間を中耕しながら下葉 1~2 枚が隠れる程度に株元に土を入れる作業です。

キビは草高 4cm、アワは草高 3.5cm 程度で作業が可能です。

仕上培土：倒伏防止、雑草防除を兼ねて培土板を装着して株元に土を寄せる作業です。

1 回目で不十分な場合には必要に応じ、その 7~10 日後に 2 回目を行います。

雑草抑制と増収効果

移植栽培は、直播栽培に比べて、**雑草の発生量が少なく**、**直播栽培よりも収量が高くなります。**

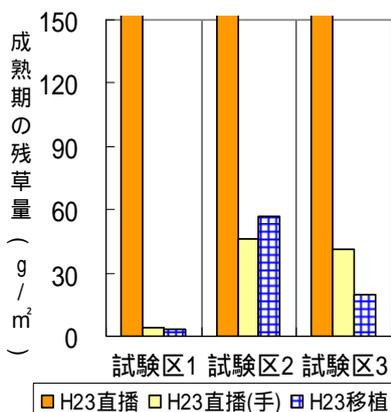


図 1. 移植栽培と直播栽培の残草量比較
「H23 直播(手)」は手取除草したデータ

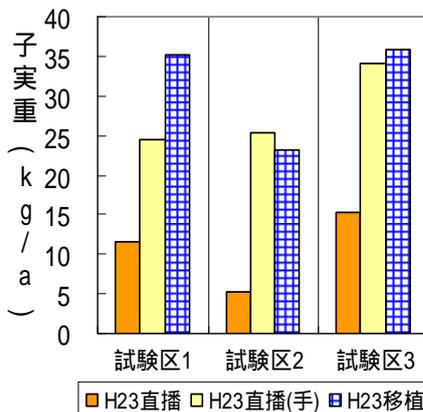
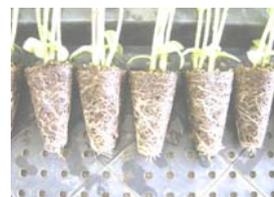


図 2. 移植栽培と直播栽培の収量比較
「H23 直播(手)」は手取除草したデータ

200 穴セルトレイ



448 穴セルトレイ



図 3. 移植時苗の根鉢

【2 留意事項】

移植栽培は、雑草の発生量が多い圃場で特に有効です。

直播栽培で移植栽培並みの収量を得るためには、手取除草を徹底する必要があります。